



みなみおおすみ

みんなの議会

第71号

令和5年
2月号



令和5年 出初め式



P 3～4

決算

令和3年度

P 5～6

予算

補正予算

P 9～15

審議

一般質問 7名が登壇

P 16～17

調査

所管事務調査等

ご挨拶

南大隅町議会 議長 松 元 勇 治

新年を迎え、早いもので、ひと月余りが過ぎました。

令和五年の清々しい新年を穏やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスが初確認されてから三年が経過しましたが、次々と訪れる感染拡大の波はとどまることを知らない状態が続いており、日常生活や社会環境に甚大な影響を及ぼし、また、事業者の皆様におかれましても、各方面の経済活動に大きな制約とご負担ご苦勞をおかけしているところでもあります。

しかしながら、昨年はウィズコロナの動きが社会的に取り入れられ、本町においても、秋ごろからコロナウイルス対策を施したうえで各種イベント等が開催され、賑わいを取り戻しつつあった一年であったところで、今年はさらに飛躍できる年になるのではと希望を抱いているところでございます。

南大隅町議会として、町民の安心・安全につながるよう、感染防止の対策を怠ることなく、町執行部と互いに切磋琢磨しながら活気ある町づくりにつながるよう取組んでまいります。

また、本町では人口減少対策が喫緊の課題となっており、第一次産業就業者の減少にも繋がっていることから、早急な対策が必要だと切に感じております。農林水産業、観光業等の振興、移住・定住と子育てしやすい町づくり、災害に強い町づくり等、数多くの課題に取組み、町民福祉の向上に全力を傾注してまいります。

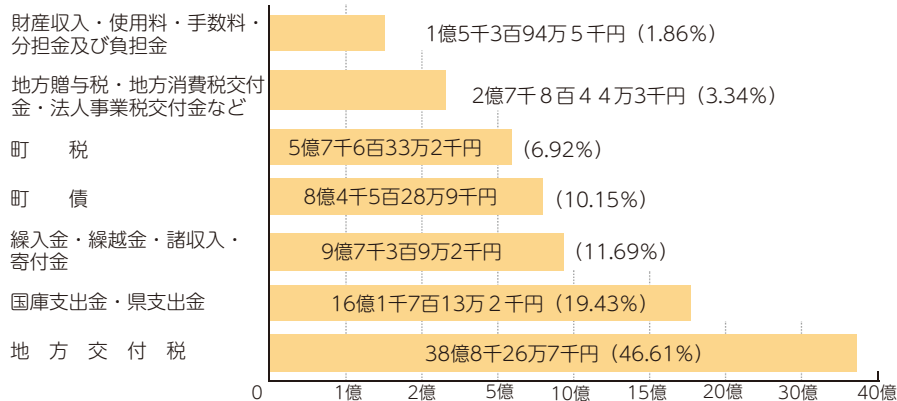
結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念いたしますとともに、本年も、議会活動にご理解、ご協力をお願い申し上げます。議会を代表しまして年初めのご挨拶といたします。

令和3年度 決算状況

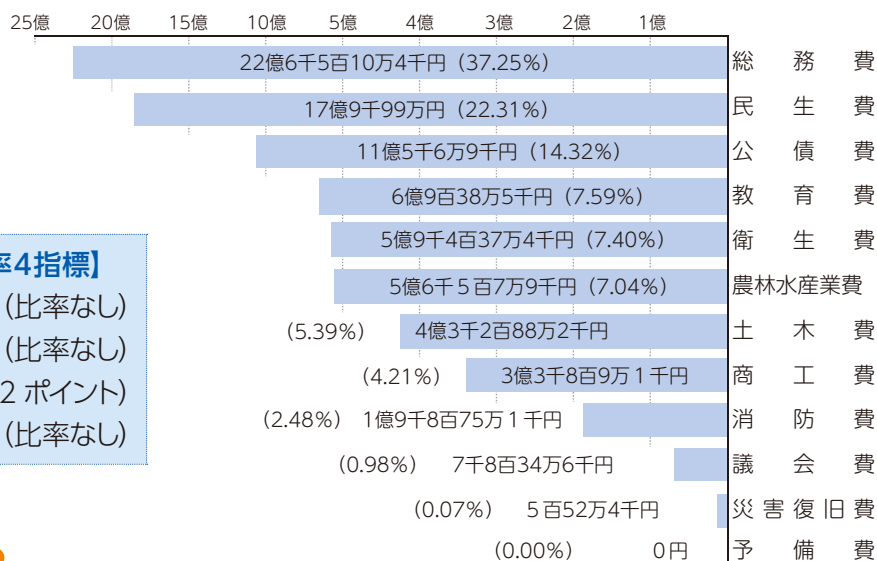
令和3年度会計の決算審査特別委員会を9月27日から10月18日まで現地調査を含め実質7日間の日程で、各会計決算書・主要施策成果説明書・監査意見書などを基に実施し12月会議において一般会計、特別会計（6会計）、水道事業会計の決算を認定しました。

一般会計

歳入合計 83億2千4百50万円



歳出合計 80億2千8百60万円



【財政健全化判断比率4指標】

実質赤字比率 (比率なし)
連結実質赤字比率 (比率なし)
実質公債費比率 (10.2 ポイント)
将来負担比率 (比率なし)

特別会計等

事業名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険特事業別会計	12億1千4百40万円	11億6千9百33万2千円
介護保険事業(保険事業)特別会計	13億8千5百14万3千円	12億6百48万6千円
介護保険事業(サービス事業)特別会計	1千5百93万2千円	1千5百93万2千円
診療所事業特別会計	1億3千8百69万6千円	1億3千8百69万6千円
下水道事業特別会計	6千1百79万6千円	6千1百29万8千円
後期高齢者医療事業特別会計	1億4千5百10万3千円	1億4千4百18万8千円
特別会計 合計	29億6千1百7万円	27億3千5百93万2千円

【水道事業会計】

(消費税抜き)

総収益	総費用	純利益
3億4千7百7万8千円	2億8千6百86万6千円	6千21万1千円
総収支比率 82.65%	営業利益率 △86.02%	純利益率 17.35%

令和3年度 決算審査特別委員会 審査公表

主眼

(歳入) … 収入確保の努力は？

予算額・調定額に対する収入済額は？

収入未済額における原因は？

(歳出) … 予算目的に沿った「最小の経費で最大の効果」が得られているか？

公益上の必要性に基づき、目的が達成され効果的な予算執行か？

企画課

- ・ふるさと納税寄付金の減少要因
- ・関係人口拡大プロジェクト事業効果
- ・ふるさとものづくり事業実績
- ・定住促進住宅取得補助金事業 14件
- ・移住定住家賃補助金事業 10件
- ・移住定住要件の緩和策などを要望

町民保健課

- ・新型コロナワクチン接種状況
- ・マイナンバーカード取得推進
- ・南大隅町ポイ捨て等禁止条例の施行
- ・大隅夜間急病センターの薬剤最適化
- ・医師招へい確保事業における効果的な取り組みを要望

経済課

- ・肉用牛素牛導入資金基金の利用促進
- ・トレーラーハウスによる地域活性化
- ・有害鳥獣対策における携帯電話通報システムの実証
- ・箱わな管理の改善策と指示の適正化
- ・各農業支援事業の年齢や対象者緩和を要望

教育振興課

- ・スクールバス置き去り事件や倒木事故等を受け安全確保と指導対応を要望
- ・南大隅高校魅力発信交流事業で県外より4名の入学生

佐多支所

- ・修繕料や歯科診療所の利用状況
- ・診療所、歯科診療所は、人口減少やコロナ禍における診療控えで診療費の減少が続く

決算審査特別委員会 委員長報告より抜粋

総務課

- ・普通交付税の増要因及び自主財源確保
- ・全国町村会災害対策費用保険
- ・職員のメンタルヘルスや高ストレス対象者の状況等について質疑（32件のカウンセリングを実施したとの回答）

商工観光課

- ・コロナ禍における商工業者支策拡充
- ・最南端から元気を贈ろう事業の改善
- ・プレミアム商品券事業の継続
- ・フォトウエディング振興事業の推進
- ・佐多岬ナイトプログラム造成事業など滞在型観光の推進

介護福祉課

- ・非課税世帯への臨時特別給付金事業
- ・社会福祉施設等におけるコロナ感染防止対策
- ・子育て世帯への支援策の拡充
- ・緊急通報サポート事業や紙おむつ支給事業の改善要望

建設課

- ・町道、農道等の維持補修等…… 13件
- ・道路新設改良工事…… 3件
- ・河川改修工事…… 1件
- ・住宅解体、改修工事…… 2件
- ・住み続ける住宅助成事業…… 38件
- ・空き家解体撤去補助事業…… 18件
- ・住宅使用料の未納対策について要望

災害復旧費など「一般会計」（第 9・10 号補正）

補正予算
可決

2 億 5 千 4 百 90 万 7 千円 追加



災害復旧事業関連 8 千 6 百 34 万円

（建設課）

農業用施設災害復旧事業	4 千 8 百 68 万円	（6 件）
林道災害復旧事業	1 千 4 百 62 万円	（2 件）
道路橋りょう災害復旧事業	2 千 1 百 24 万円	（3 件）
小規模災害補助金	1 百 80 万円	（3 件）

台風 14 号により被災した農業用施設、林道及び町道や橋の復旧工事費。

移住定住促進・ふるさと納税関連 6 百 50 万 5 千円

（企画課）

定住促進住宅取得資金補助金	4 百 54 万 8 千円
移住・定住促進事業補助金	5 万円
移住・定住促進事業家賃補助金	77 万 3 千円
ふるさと納税推進事業	1 百 13 万 4 千円

本町への移住・定住を促進するため、住宅取得、事前視察や家賃補助を実施する事業。また、ふるさと納税アップに繋がるよう返礼品に合せて町の動画を作成する事業費。

地域振興施設整備事業など 3 百 42 万 7 千円

（総務課）

南大隅町地域振興施設整備事業	2 百 82 万 7 千円
通信環境構築事業	60 万円



各地区公民館施設の補修及び無線放送施設整備事業と保健センターの通信環境の整備を実施する事業費。

観光施設電動車いす導入事業など 2 百 42 万円

（商工観光課）

観光施設電動車いす導入事業	1 百 58 万 7 千円
さたでい号衛星電話整備事業	38 万 3 千円
特産品販路拡大支援事業	45 万円



雄川の滝への遊歩道整備完工に伴う電動車いすの導入事業費。

さたでい号の法定無線施設の法改正（携帯電話の使用除外）に伴う交信手段確保対策のための衛星電話整備事業費。

要支援者保護施設設置事業 6 百 80 万円

（介護福祉課）

要支援者保護施設設置事業 6 百 80 万円

自宅で一人での生活が困難な高齢者等が、介護施設等に入居できるまでの一時的な居場所の必要性から、社会福祉協議会の管理のもとで生活できる保護施設の整備を行う事業費。



農業振興関連 2 百 39 万 5 千円

(経済課)

緑茶加工施設機械修繕	56 万 3 千円
第一次産業 IOT 推進事業	30 万円
特産品パッケージ推進事業	30 万円
肉用牛災害見舞負担金	36 万 6 千円
畜産施設等整備事業(簡易牛舎)	86 万 6 千円

緑茶加工施設機械修繕、次世代農業支援のための IT 機器導入補助、肥育農家出荷牛の病気に対する助成、簡易牛舎建設に係る補助。



出産・子育て応援支援事業など 6 百 15 万 2 千円

(町民保健課)

出産・子育て応援支援事業	3 百 75 万 2 千円
PCR 検査等費用助成事業	2 百 40 万円

妊婦・子育て家庭に寄り添い、身近な相談支援の仕組みと、妊娠届時と出生届後の 2 回に分けてそれぞれ 5 万円ずつ計 10 万円を交付し、経済的支援を行う交付金。

肝属郡医師会立病院入院患者等の PCR 検査費用を助成し、有床病院の機能維持と二次救急医療の確保に資するための助成。



地元産材活用支援事業など 89 万 7 千円

(教育振興課)

南大隅高校存続推進事業(高校寮施設管理)	69 万 5 千円
地元産材活用支援事業	20 万 2 千円

鹿児島県最低賃金改定に伴う高校寮管理委託料の増額。

「日本一鹿児島黒牛」の功績を機に、地元食材の素晴らしさの PR と食育の観点から学校給食食材として牛肉を提供する事業費。



マイナンバーカード保険証機能利用機器整備事業など電算システム改修事業関連

診療所事業特別会計	2 百 35 万 7 千円 (佐多・郡・大泊・辺塚診療所)
歯科診療所(指定管理料含む)	1 百 65 万 5 千円 (佐多支所)
電算システム設定委託事業	27 万 5 千円 (国民健康保険事業)
電算システム設定委託事業	82 万 5 千円 (税務課)

令和 5 年度より、これまでの保険証に替わり、マイナンバーカードが保険証の役割を果たすことから、各施設においてその対応機器を整備するための事業費。



(マイナンバーカードを保険証利用した資格確認のイメージ)

積立金 償還金 など

減債基金積立金	1 億 4 千 3 百 26 万 5 千円
子ども子育て支援事業関連償還金	5 百 54 万 3 千円

令和 3 年度事業完了に伴う各種事業補助金等の精算に伴う積立金や国県への償還金等です。

私の判断

（○…賛成、×…反対）
欠…欠席

※議長は表決には加わりません。

結果	後藤道子	森田重義	日高孝壽	浪瀬敦郎	上之園健三	津崎淳子	平瀬十助	大村明雄	幸福恵吾	大坪満寿子	木佐貫徳和	松元勇治
原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

11月の議案審議結果（令和4年11月15日）

予算	令和4年度一般会計補正予算（第8号）について（歳入歳出 57,340 千円追加）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
----	--	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

12月の議案審議結果（令和4年12月8日）

条例	南大隅町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
----	----------------------------	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

12月の議案審議結果（令和4年12月20日）

予算	令和4年度南大隅町一般会計補正予算（第9号）について（歳入歳出 243,514 千円追加）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和4年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について（歳入歳出 20,228 千円追加）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和4年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算（第3号）について（歳入歳出 3,045 千円追加）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和4年度南大隅町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について（歳入歳出 804 千円追加）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和4年度南大隅町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について（歳入歳出 457 千円追加）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和4年度南大隅町水道事業会計補正予算（第3号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例	南大隅町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町職員の再任用に関する条例の廃止について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町職員の降給に関する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	令和4年度南大隅町一般会計補正予算（第10号）について（歳入歳出 11,393 千円追加）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和4年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算（第4号）について（歳入歳出 699 千円追加）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和4年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）について（歳入歳出 143 千円追加）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和4年度南大隅町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）について（歳入歳出 54 千円追加）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和4年度南大隅町水道事業会計補正予算（第4号）について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—



質問順	質 問 事 項	質問議員
1	・ 自主財源確保について ・ 「相談しやすい役場」 職員の意識改革について (9ページ)	森 田 重 義
2	・ 独居高齢者の見守りにについて ・ 紙おむつ助成事業について (10ページ) ・ 福祉避難所について	津 崎 淳 子
3	・ 障害者手帳のカード化について ・ 公園整備について (11ページ)	大 坪 満寿子
4	・ 起業・創業活動への支援について ・ 図書館の利用促進について (12ページ) ・ 婚活イベントについて	後 藤 道 子
5	・ 県道辺塚根占線出口の現況について (13ページ)	浪 瀬 敦 郎
6	・ 地方公務員の定年引上げについて ・ 旅費及び懇親会費等について (14ページ)	木佐貫 徳 和
7	・ 子育て支援策について (15ページ)	幸 福 恵 吾

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を資し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人当たり持ち時間は、答弁を含め 60 分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が構成したものです。

※本議場は、登壇席、質問席に新型コロナウイルス感染予防対策として、飛沫拡散防止にアクリル板を設置しております。

自主財源確保について



自主財源確保は、自立的で安定した財政運営に欠かせません

議員 令和3年6月に、「新たな自主財源確保の計画はないか」一般質問、回答いただいた進捗状況、現在、新たに進めようと考えているものをお聞きます。

※前会回答

①第一次産業の振興による寄与

②光回線を活用できる閉校跡地への企業誘致

議員 自主財源確保への取組みは進んでいるのか。

町長 令和3年度決算における自主財源は17億3百37万円で、自主財源比率は、20・46%です。

平成29年度をピークに減少傾向にあります。第一次産業については収益を上げるための投資、令和3年3月の農業等収入申告額は上っております。

光回線活用企業誘致については、閉校跡地へ新規事業者の受け入れ実績はございません。

鹿児島市・空港等からの距離、2時間を超える部分の改善が課題と考えています。

議員 錦江町では、事業所等誘致が進んでいます。一町で困難なら「近隣市町」と、手を取って誘致活動はできないか。

（事例）再生可能エネルギー発電大手「ジャパン・リニューアブル・エナジー」が、錦江町と肝付町を跨ぐ山間部に風力発電施設の建設を計画

※2026年着工予定

（提言）町長が掲げられる「子育て日本一」をPRし、鹿屋市を中心に大手企業へ誘致活動を進め、本町は「ベッタタウン」従業員の住める町も、一つの手立てではないかと思う。

議員 自主財源の目標値は。

目標値は定めておりません。

町長 令和3年度決算、県内市町村の自主財源比率の平均は26%、本町は、平均を数パーセント下回っている状況です。

町税収入が最重要であり、第一次産業の振興・国債の運用・企業誘致・ふるさと納税、これらの取組みを推し進め、前年度より少しでも確保できるよう取り組んでまいります。

議員 ふるさと納税の状況は。

町長 前年度の同時期と比較いたしますと、件数で369件、金額で7百37万6千円の減少となっております。

本年度十一月末までの実績が寄与件数1,389件、寄与金額2千7百85万1千円です。

議員 ふるさと納税推進事業の取組み内容は。

企画課長 ポータルサイトの拡充・災害支援金・お墓参りの代行サービス（シルバー人材・暮らし見守りお届けサービス（社協）を実施しております。

「感謝の思いを伝えるムービー」を作成し、リピーター確保と収入をあげられるよう元氣をお返しという取組みを考えております。

議員 PayPay商品券等、新たなふるさと納税への取組みと、各課の力が必要と考えます。

議員 「相談しやすい役場」職員の意識改革について

議員 職員の意識改革「相談しやすい役場」は実現できているのか。

※前会の回答

①係りをワンチームとした業務の効率化

②既存事業の見直しの実施することにより「地域課題解決」「地域要望に即応」できる業務の向上

町長 目指す、相談しやすい役場に近づいていると思っております。

議員 研修等の取組みはなされているのか。

総務課長 令和4年度の実績は、鹿児島県自治センターにて「階級別研修」「特別研修」等、15名参加しております。

議員 職員のスキル・能力向上するための取組みがなされているのか。

総務課長 令和3年度から「関係人口拡大創出プロジェクト」として各課若手職員から15人を選出し、研修等で得た能力を発揮する場づくりに取り組んでおります。

議員 （提言）①インバースケット研修の活用 ※制限時間内に、的確に高い精度でタスクをこなすための思考法研修

②「相談しやすい役場」より、町民に寄り添った「親しみやすい役場」を目指していただきたい。

進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む。

議員のひとり言

独居高齢者の見守りについて 見守り活動の実施状況は



町長 民生委員児童委員による見守りや旧小学校に地区社協を設置し、自治会単位で見守り活動がされています。

議員 現在、地区社協が増えず、民生委員の方も2、3カ所の担当地域を見守る方もいれば、空白地域もあります。独居高齢者も増え、見守るのも難しい。自治会ごとなら顔見知りで見守る人も限られ、把握しやすいので、自治会長に見回り活動をしていただくのは如何か。

携帯電話を持つている方たちとは、見守りグループをLINE作成し、安否確認や相談等をする。

また、行政への報告もLINEで、携帯電話を持っていない独居高齢者には、声かけか安否確認方法を決めれば自治会長の負担も少なくなるのでは。

活動をしていただくので報酬をプラスするか、スマイル支え合い活動事業補助金のIT関連の項目で、構

築を対象としているが、活用する事に補助金は出せないか。

町長 独居高齢者の方々が孤独死という事があつてはならない事なので、きつちり取組みをしたいと思っています。自治会長への委託による報酬アップは可能だと思いますが、自治会長会で、まず話して協議すべきかと思っています。

また、いろんな方法もあるかと思っています。

総務課長 LINEを活用しての見守り活動は、スマイル支援の補助対象となります。自治会として見守り活動を実施する事が前提で、自治会内の声かけをしていただく方への謝金等についても対象になると考えます。

他に、見守り協定、包括的連携に関する協定を結ぶことができないか質問しました

議員 このコロナ禍、人との交流が少なく、独居高齢者が孤立しないように声かけを行い、つながりを持ち、人と人が支えられる町になればと願います。

緊急搬送時における緊急連絡等の対応策について

町長 消防署が、近隣の住民からの情報や、前もって本人の同意がある場合は、役場、社協、福祉施設等から家族や支援者への電話番号等の情報を得て対応されています。

他に、緊急時において安心カードを作成し、啓発を図っていましたが、個人情報漏えい等が心配された事から現在は利用を控えています。

議員 安心カードは、一人暮らしで意識がない、認知症で返答が難しいなど、意思疎通ができない時に必要となります。重篤な場合、搬送先での入院や手術の同意書、延命の有無など家族が身元保証人の承諾がなければなりません。お薬手帳があれば、かかりつけ医、病院への問い合わせ、緊急連絡先もわかり救急搬送の受入れも容易になります。なければ、救急隊が受入れ先をあたり時間を要します。救急車は南部消防署に2台で、錦江町と南大隅町根占に対応され佐多分署の1台は佐多に対応されています。

す。救急隊の方も、お薬手帳や安心カードがあれば大変助かります。いち早く搬送し、早く治療するためにも欠かせない。

町長 独居高齢者の見守りは本当に重要です。自治会長会等とも協議し、デジタルの情報網の整備も合わせて取り組めていければと考えます。

議員 スピーディーに対応するためにも、町民の命を守るためにも必要な事です。

その他にも質問しました。

①紙おむつ助成事業について。

紙おむつを必要とされる方へ物価高騰や衛生面や感染症などを説明し金額の引き上げを提案。

②利用者の方々のおむつの使用頻度や金額など、意見を伺いながら対応していきます。

③乳児への紙おむつ支給ができないか。

④「出産子育て応援交付金」の補正予算が国会で成立したので、この事業を活用した支援を進めます。

⑤保健センターを福祉避難所として指定できないか。

⑥今後、南大隅町地域防災計画において福祉避難所として指定していく考えです。

最後に、過疎高齢化により独居高齢者も増え、安心して住み続けられるよう、地域一体となつて見守り、助け支え合つて福祉の町にしてほしいと願います。

孤独死をなくす為にも早期に対策を。

議員のひとり言

大坪 満寿子 議員

障害者手帳の カード化推進について



町長 利便性は非常に高くなると思います

議員 障害者手帳には、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の3種類があります。

手帳を申請してから交付までの流れは、

町長 障害者の方が、保健福祉サービスや各種制度を受けるために、町の窓口を経由して、手帳の種類ごとに、県が審査し、**鹿児島県**より交付されます。

議員 現在の手帳は紙製のため耐久性がなく、汗や水で文字が滲んでくる。

また、財布に入らないため不便であり、多くの障害者の方やその家族が生活しづらいと感じておられる現状がある。

「運転免許証や健康保険証と同じ大きさで、財布に収まるカード形式の障害者手帳を。」との声が多い。

国では、カード型様式が追加され、カード型手帳の交付が可能になったが**鹿児島県はまだです。**

カード形式の障害者手帳を推進する考えは

町長 所轄が鹿児島県ですので、県へ要望してまいりたいと思います。

【身体障害者手帳】



カード型様式の障害者手帳

公園整備について

町内の公園の利用状況は、

町長 町が管理している公園は、みなと公園、台場公園、立神公園の3公園です。

利用状況は、みなと公園は、子どもから高齢者の方まで多くの町民の方々に利用されており、各種イベントやグラウンドゴルフ大会など、幅広く利用されております。また、台場公園と立神公園は、地元自治会の管理のもと、地元の方や観光客の立ち寄りスポットとして、利用されている状況です。きつね塚公園は平成23年から閉鎖している状況です。



閉鎖中のきつね塚公園

議員 閉鎖されたきつね塚公園は、公園への立ち入りが安易にでき、老朽化した遊具がそのままの状態

で危険だと考えるが。

町長 耐久年数を相当過ぎていきますので、撤去の方向で考えていきます。まずは撤去の前に公園に入れないよう措置していきます。

議員 51年ぶりに国体が本県で開催され、自転車競技場に選手

をはじめ、多くの観客の方々が来町される。

「おもてなし」という意味でも、環境整備をするべきでは。



立入禁止の措置がされた公園

町長 施設の撤去を含め、国体に合わせ環境整備をしつかりとしていきたいと考えます。

議員 **みなと公園**にある東屋は、観光客をはじめ、なんとん市場を訪れた方や児童生徒など多くの人が利用する。遊具で遊んでいる子どもたちをより近くで見守るためにも遊具の近くに東屋を設置できないか。

町長 観光の部分も含めた形で、子育て世代の情報交換の場にもなることから必要性は理解しておりますので、設置する方向で考えていきます。

議員のひとり言

国体、素晴らしい環境のもとで選手をはじめ関係者のおもてなしができますように。

起業・創業活動への支援は

各種支援制度の充実、地域産業の活性化を図っています



議員

新規就農者数に比べて起業する人が少ないのは、支援に差があるからではないかと考えるが、町長はどのように捉えているか。

町長

国の制度、民間等の商工業者への制度等が概ね、国の流れ県の流れ町の流れ、大体、似たようなこの支援の比率ではないかと認識しています。

議員

町独自の補助事業はあるか。

工光長
商観課

一次産業に新規就業するための研修を含めた制度、月額15万円〜25万円の範囲で1年間、合わせて就業支援金50万円、入職し就業してから、一人当たり4万円〜11万円の範囲内で、最大2年間。商工業においては、スタートアップの創業支援として、月額1万5千円〜5万円の範

囲内で1年間。店舗整備補助金、上限50万円という状況です。

議員

若い世代は色々なアイデアを持つている。しかし、起業をしたくても資金面で断念していることが多いと思う。起業後の運転資金が十分にならないと続けていけない現実があるからです。国の利子補給制度もありますが、それだけでは不十分だと思いが、町独自の起業後支援はできないか。

町長

端的にただ支援だけの部分ではなく、全体のいろんな業種のバランスを考えて、今後判断をしていきたいと思います。

議員

新しい資本主義を実現するには、人への投資が大事だと考える。南大隅町に来たら、若者にも夢が持てるような支援を期待する。

図書館のリノベーションの考えはないか

柔軟な発想で、新しい活用方法を模索する考えです

議員

図書館の利用者を増やすためにどのような対策をされているか。

教育長

クリスマス会や音楽会など、図書館を利用される方にもう1回図書館に帰ってきていただけるような方向性を見いだしてやってきました。また、2階の歴史資料も、関係者をお呼びして、見学していただいて、帰りに本を借りていただくような方向性で、利用者数の減少に歯止めをかけているところです。

議員

現在、本を読む人が30年前より三分の一になっている現実がある。スマホなどの普及で、図書館に行かなくても、色々な情報が手に入る時代になったことも、原因の一つかもしれない。今、図書館は静かに本を読むところではなく、誰でも自由に過ごせる場所に変化している。
根占図書館は明治16年に九州初、



140周年を迎える
根占図書館



全国で4番目に創られた歴史ある図書館でもあり、八島太郎誕生の町です。2階にある資料館などもっと多くの町外の人にも知って欲しいため、140周年の年を機会にリノベーションをしていただくことを希望します。

議員のひとり言

人への投資がこれからは大事

県道辺塚根占線 改良状況について



議員

令和5年度は国体も開催される。県の事業であるが、出口地区の未改良区間の完成は何年度か。また、町道松之迫赤瀬川線の改良工事も、部分的には改良工事が進められているが、今後における全体の計画概要は。

町長

県道辺塚根占線出口地区の進捗状況について、大隅地域振興局へ確認しましたところ、計画延長480mのうち、改良済みが160m、今年度発注見込みが80mで、残る240mにつきましては、用地取得等の業務を進めているところであり、完成時期について明確な回答はできない状況とのことでした。

また、町道松之迫赤瀬川線につきましては、令和2年度事業で、松之迫自治会内の延長140mの改良工事を実施し、今後の計画につきましては、町全体の事業計画の中で取り組んでまいります。

議員

工事の進捗状況としては、国体の開催に関係ないという事で理解してよいのか。

建設課長

国体は10月でございますけれども、町長からありましたとおり、今年度発注予定の80mにつきましては年度繰越をしても、10月の国体までには間に合うのではないかと考えます。

ただ、それでも残る240mにつきましては間に合わない状況と考えられます。要因として、用地取得が難航していると聞いております。

議員

用地買収は町が動いているのか。

建設課長

用地交渉につきましては、事業主体が県でございますので、県と地権者の方と、その間で行われておりますので、町としては個人情報も含まれている

議員

ということもありまして、詳細については知り得ないという状況でございます。先に松之迫線の整備、拡幅はできないか。



町道松之迫栗之脇線

建設課長

その区間につきましても県が改良工事の計画をされております。設計が仕上がっていない状況で、町が先にとっているのは今のところ考えておりません。

議員

錦江町の田代地区を見ると、町道の幅が広く整備されている。うちの町は現状の道路を整備するだけで、ものすごく格段の差があるような気がする。松之迫から栗之脇間に1箇所狭い大きなカーブがある。私もよく通るが、「ハッ」とする時が多々ある。今後、道路を広げるという検討はされないか。

町長

今後幹線道路については、通行量等を勘案した形で、今後の事業計画にはそういった考え方を優先していければと思います。



町道松之迫栗之脇線狭いカーブ

定年に対する

地方公務員法の改定の概要は



町長 これまでの60歳から段階的に65歳まで引き上げられます

議員 具体的にはどういうことか。

町長 定年が2年に1歳ずつ引き上げられることになり、10年後の制度が完成する令和14年度には65歳まで引き上げられます。これに伴い、管理監督職上限年齢制限や定年前再任用短時間再任用制といった新たな人事運用面の制度が導入されます。

議員 現在59歳の方が1年延びて61歳になり、2年後に58歳の方が62歳まで、そのまた2年後に63歳まで、現在55歳の方が65歳まで定年延長になるようである。そこで現在、51歳から59歳までの職員が何名在籍しているか。

総務課長 現在、28人が在籍しています。

議員 61歳で定年した人は4年間、62歳の方は3年間は再任用ができる制度であるが定年延長の方と再任用の方が混在し職員の年齢バランス、採用計画に何も影響ないか。

総務課長 定年延長により残る職員は、定数内に含めることから、少なからず採用計画にも影響があると感じます。令和5年度中に、定数バランスと職務内容等の実態を加味した運用ベースの定員計画の見直しを行い、対応を検討します。

議員 将来的な年齢バランスを保てるような職員採用をぜひ計画してほしい。私が、一番懸念するのが管理職であった方が直近下位に降職されることである。課長職が課長補佐に下がるということですが、当然課長補佐が課長になるわけでは、逆転して仕事が非常にやりにくいのではないかと思う。その職員のモチベーションをどのように考えているか。

町長 定年延長ではなくて、60歳で早期退職し、再任用制度で行く、あるいは定年延長を希望する方、それぞれの事情で先が見えない状況です。今後において逆転現象があることから、国の流れ等も変わってくると思います。

議員 初めの制度ですので、退職前の方々に、しっかりとその運用を説明され、後悔されないように面談していただきたいと感じます。

旅費及び会議等における弁当代、懇親会費等の改定は検討していないか

町長 今後、管内市町の状況や物価の上昇等も考慮し、検討していきます。

議員 旅費については、旧町から20年以上改訂されていない。旅行会社は旅費規程の範囲内で取りづらいつと聞く。弁当や懇親会については、原材料、電気代、ガス代等が値上がりし、10個、20個の注文では赤字で断らざるを得ない。調査して検討いただきたい。

町長 昨今の事情により、旅行会社から厳しいと声を聞いており、総務課長等の会議の中で取り組み、妥当な額に改訂することは必要だと感じます。弁当についても、醤油、いろいろな油等も上がっているため、今回改定する方向で考えています。

議員 弁当代、懇親会費等については、町内業者の方々を支援する意味においても大切なことであるので検討いただきたい。

公務員の定年が65歳まで延長、町民のために頑張ってほしい…

議員のひとり言



子育て支援策として、小中学生の給食費無償化および幼児の保育料の無償化を実現できないか

教育長 給食費について、宮迫武蔵オノリ教育基金を活用し、無償化に向けて取組んでまいります

町長 保育料について、過疎債のソフト事業も活用し、無償化を実施していきたいと考えています

議員 より子育てしやすい町を目指し、小中学生の給食費について、コロナ交付金を活用し

今年度3月までは無償化となっているが、来年度4月以降も保護者負担なく、無償化を実施する考えがないか。

教育長 現在、小中学生の給食費につきましては、小学生

4,000円、中学生4,500円となっております。地場産物購入支援として、年額500万円。子育て世帯支援として、年間1,250万円の支援を行い、小中学生1人月額1,000円の給食費

となっております。

しかし、コロナ禍などの社会情勢による物価高騰に対して、子育て世帯の教育費負担を軽減するため、さらなる支援が必要であると考えております。その支援策の一つとして給食費無償化は有効であると考えますので、令和5年4月分から、無償化に向けて取り組んでまいります。

議員 今回の一般質問での給食費無償化については、浪瀬

議員、大坪議員も同じ提言があり、近隣の市町村を見ても無償化で取り組んでいるところはないと認識

している。
財源についてはどう考えているか。

教育長 財源については、宮迫武蔵オノリ教育基金の活用を考えて、検討してまいりたいと考えております。

町長 宮迫夫妻からいただいたご寄付を、子どもたちのために使ってくださいというご遺志のもと、早い時期から活用したい考えもあり、財源として検討していきたいと考えております。

議員 幼児の保育料の無償化は実施できないか。

町長 これまで南大隅町においては、子育て世代の経済的な負担軽減策としての国の制度に合わせた3歳児以上の保育料無償化と、町独自の副食費等の補助事業を実施しております。

より一層の子育て支援策として、これまでにも、対象世代の方々より、ご要望もいただいておりますので、子育て支援日本一を目指し、令和5年度から保育料の完全無償化に取り組んでまいります。

議員 財源についてはどう考えているか。

町長 現在の保護者負担が町全体で年間約700万円となっており、それに対して過疎債のソフト事業を活用することができ、そのうち約490万円については交付税算入処置が適用されるということです。

そして、その残りの分を、宮迫武蔵オノリ教育基金の活用を考えているところです。

保育料完全無償化を謳うことで、南大隅町に移住定住をしていた方々を気持ちよく迎え入れたいと考えております。

議員 移住定住に関する取組みについては、住宅や仕事、医療体制の整備など、様々な課題が残っている。

しかし、小中学生の給食費および幼児の保育料の完全無償化の実現は、子育て世代の移住希望者にとって目を向けてもらえる大きな取組みになると思う。

今後もPRや新規事業を含めて、移住定住に向けた積極的な取組みを進めていただきたい。

合同所管事務調査

令和4年11月16日(水)～18日(金)

空き家等活用による定住促進等調査

広島県福山市の鞆町は約4千人の港町で高齢化、過疎化、歴史的建造物の老朽化などの問題を抱えています。民間がNPO法人「鞆まちづくり工房」を立ち上げ、街並みや港湾施設、伝統的な産業など歴史的な遺産を活用したまちづくりを提案し、空き家などを活用した住まいや店舗などの再生等の取組みを行っています。行政の力を借りず、民間の力で補助金やクラウドファンディングなどを利用し、また、アニメ映画監督の発信力や映画やドラマの舞台にも使われ知名度も上がり、移住定住者も増加しています。

自発的に空き家再生をもう一度見直しをしようとして機運が広がっているそうです。歴史的な街並みを再生し、観光地として復活し、町の活性化がまちづくりの課題となる中で「空き家」を1つずつなくしていこう、そして人の声が響く、元気なまちを作ろうと空き家の活用、促進、提案を行っているのがよくわかりました。地域活性化の為に、住民や私達も「空き家や廃校」など行政に対して提案し、一体となって取り組むべき事だと最認識しました。



広島県立図書館の視察

来年、140周年を迎える「根占図書」の今後の取組みについて調査しました。

今回の調査にて、図書館は本を読んだり、調べものをしたりする場所であるべきという概念から、誰でも自由に本を楽しく親しむ場所へと変化してきていると感じました。県立図書館では、車椅子での来館に対応できるように通路も広く、小さな子供連れでもゆつくり読み聞かせできるようにソファが設置されており、色々な工夫が見られました。

また、サイエンスをテーマにした「ひろしま子どもサイエンスライブラリー」がオープンしたところ、さらに来館者が増えたそうです。

来年、140周年を迎える根占図書館も、小さな子ども連れの親子をはじめ、本に興味がある誰しもが利用しやすい場所となるよう、図書館整備の必要性を感じました。

※サイエンスとは……自然科学



古民家再生の取組み 「鞆の浦」



過疎高齢化により特に農業の担い手不足が挙げられています。全国的に「農福連携」という役割が重要視されてきて町内でも民間の障害者施設ですでに取り組みされていますが、課題もあるそうです。

今回、広島県の「のろさん山麓農園」に所管事務調査を行いました。製造業の方が、社会福祉・地域に貢献する為、障害者就労支援に力を入れ、障害者のペースも尊重しています。就労している方々は、生き生きとして働ける場ができ、地域の活性化につながっているのがわかりました。

わが町の人手不足、地域活性化のためにも、もっと農福連携を推進していくべきだと思います。

この2つの所管調査をとおして、地方の過疎高齢化により地域の活性化のためにいろいろな方法や施策に取り組み、実施されている事を調査し、今後も我が町に活かしていければとあらためて思いました。

農福連携等調査



「のろさん山麓農園」 トマト栽培



室内での説明



県立図書館内

南大隅町議会と南大隅町自治会長 連絡協議会との語る会

令和4年度南大隅町議会と南大隅町自治会長連絡協議会との語る会を令和4年12月20日（火）に開催しました。テーマとして「過疎高齢化による自治会の担い手不足、個別テーマとして①豪雨・台風後の海岸ゴミについて②道路の生い茂りについて③防火水槽について意見交換をいたしました。

高齢化による自治会の担い手不足が重要な課題、特に清掃作業、各種自治会行事など、今まで以上に町に協力をお願いしたいという意見がありました。



南大隅町議会 広報広聴常任委員会では、議会広報誌のモニターを募集しています。

年4回発行される「みんなの議会」に対して、皆様のご意見や感想をいただき、今後の議会広報活動に活かしていきたいと考えています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

【連絡先】

南大隅町議会事務局

☎0994・24・3141

編集後記

十千十二支で読む2023年は「癸卯」（みずのとう）「癸」は順序で言えば最後にあたり、一つの物事が収まり次の物事への移行していく段階。うさぎと言えば飛び跳ねる。飛躍、子沢山。豊穰、子孫繁栄の象徴とされ、長い耳は福を集めると言われています。

これまで新型コロナウイルス発生により、日々の生活に変化が訪れて戸惑いながらも色々な知恵を絞りこまですべて耐えてやってきました。

コロナ禍も4年目に突入し、今年の干支のうさぎに負けないように私たち、議会も新しい年に向かって、令和4年度をしっかりと精査し、町民の負託に応える議会を目指して飛躍したいと考えております。

また、広報誌につきましては、分かりやすい紙面作りを心がけ、皆様からのご意見等をいただければ、大変励みになります。

2023年も、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

後藤 道子

表紙ともう一枚



【お知らせ】

3月会議は、3日（初日）、16日（一般質問）、17日（一般質問）、22日（最終日）、本庁議事堂で開催予定です。

「みんなの議会」で見ることができない議会がご覧になれます。詳しく日程等は議会事務局までお問い合わせください。

【発行責任者】

議長 松元 勇治
副議長 後藤 道子

委員 幸福 恵吾
委員 森田 重義
委員 上之園 健三
委員 平瀬 十助
委員 大坪 満寿子